

世間の無理解と戦いながら、安全と消毒を両立させた中小企業経営者の挑戦

「安全」と「除菌」は両立できる

二兎を追うから二兎を得た
「クリーン・リフレ」をつくった社長の挑戦

2021年4月18日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:佐藤和夫、所在地:東京都豊島区)は、内海洋 著『安全と「除菌」は両立できる』を2021年4月18日(日)に刊行いたします。

次亜塩素酸水についての誤解と戦う

鳥インフルエンザや口蹄疫など、さまざまな伝染病から北海道の農家を守り続けてきた消毒液「クリーン・リフレ」。「クリーン・リフレ」は、人体に無害でありながら、消毒効果が高い電解無塩型次亜塩素酸水を使用。新型コロナウイルス対策でも注目されており、帯広畜産大学との共同研究で、ウイルスの不活化が証明されており、世界論文も発表されている。「クリーン・リフレ」を開発したのは、帯広市の中小企業、アクト。畜産排水処理システムや車両消毒装置など、数多くの畜産農家を守る画期的な製品を開発し、経済産業省の地域未来牽引企業に選定されるなど、さまざまな賞を獲得してきた(顧客には畜産農家をはじめ、大手肉製品製造・食肉卸売業、鉄道会社、公共施設、病院、薬局、介護施設、食品工場など)。しかし、同社の歴史は、無視や無理解との戦いの歴史であり、現在も次亜塩素酸水についての誤解と戦う渦中にある。

「二兎を追うものだけが二兎を得ることができる。安全と消毒の両方を追求したから『クリーン・リフレ』が生まれた」。非常識と言われながら、挑戦を続ける社長の思いを明らかにする。

タイトル:「安全」と「除菌」は両立できる

二兎を追うから二兎を得た「クリーン・リフレ」をつくった社長の挑戦

ページ数:224ページ 著者:内海洋

価格:1,650円(税込) 発売日:2021年4月18日

ISBN:978-4-86667-277-9

【目次】

第1章 食と命を守るため、「アクト」を設立する

第2章 農業を守るために挑戦し、常識を打ち破る

第3章 「飲める水」での消毒を目指し、
クリーン・リフレを開発する第4章 次亜塩素酸水は、
なぜ「安全性」と「有効性」を両立できるのか？

【著者プロフィール】

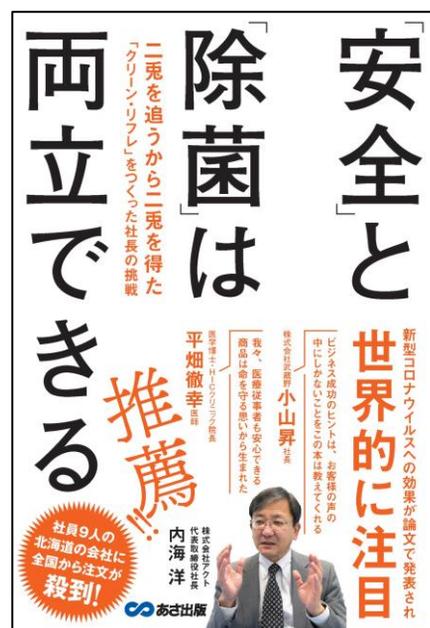
内海洋(うちうみ・ひろし)

株式会社アクト代表取締役社長。

1958年生まれ。小樽市出身。釧路高専卒業後、北海道ヤンマー等を経て、1997年に有限会社アクト設立、2000年5月より現職。

北海道地方発明表彰北海道知事賞受賞(2017年)、経済産業省・第7回ものづくり日本大賞地域貢献賞(2018年)、経済産業省・地域未来牽引企業選定(2018年)など受賞多数。

北海道帯広市大通南16丁目2番地2アクトビル5F

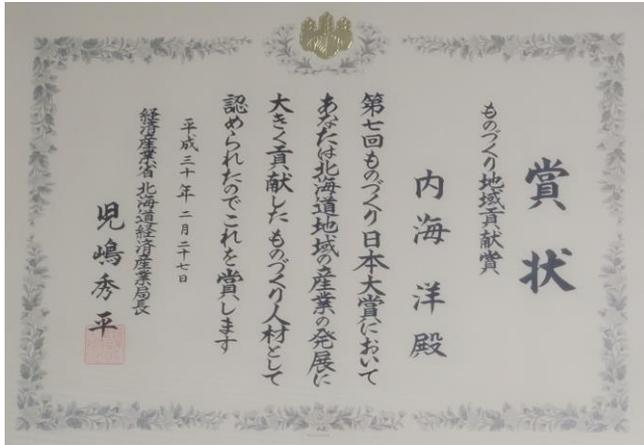
<http://www.act-hokkaido.com/>



電解無塩型次亜塩素酸水を使った
クリーン・リフレ



医療施設での除菌



ものづくり日本大賞を受賞



飲食店での除菌



クリーン・リフレを使った車両消毒装置



クリーン・リフレを使った畜舎の空間除菌・
暑熱対策システム。脱臭効果も高い